2014年4月26日

祝辞

日本ヴェーダーンタ協会が、2014年5月25日に東京・清泉女子大学で開催されるスワーミー・ヴィヴェーカーナンダ生誕150周年記念祝賀行事の閉会式にて、協会の隔月誌『不滅の言葉』特集号を披露されると知り、大変嬉しく思います。

スワーミー・ヴィヴェーカーナンダは、直接経験という確固たる根拠を基に「諸宗教の調和」の概念を提唱しました。人種や宗教、性別にとらわれないこの概念は、師であるシュリー・ラーマクリシュナから得たものです。スワーミージは、全人類がより高い霊的ゴールに向かって進んでいくのを見、人間の気質に違いがあることを認めながらも、この違いに関わらずすべての宗教の道が究極の目的に通じていると述べました。ある講演の中でスワーミージはこう言っています。「もし普遍の宗教があるとすれば、それは特定の時代や場所にだけ存在するのではなく、それ自らが説く神のように無限であり、その太陽はクリシュナの信者もキリストの信者も聖者も罪人も等しく照らすであろう。それはバラモン教でも仏教でもキリスト教でもイスラム教でもなくこれらすべてを合わせたものであり、なお無限の発展の余地がある宗教だろう…」

シュリー・ラーマクリシュナ、ホーリー・マザー・シュリー・サーラダー・デーヴィー、スワーミー・ヴィヴェーカーナンダに真摯に祈ります。皆様方に最高の祝福が注がれますように。そしてこの特集号が、聖なる御三方の永遠普遍のメッセージを日本に広める一助となりますように。

（スワーミー・アートマスターナンダ）

プレジデント

ラーマクリシュナ・マト・アンド・ラーマクリシュナ・ミッション